

三重県経済の動向（2024 年 10 月） No. 565

【現在の景気】 足踏み状態となっている（※24 年 7 月～9 月の指標より（一部除く））

生産は 6 月に発覚した国内主要自動車メーカーの認証不正問題による生産・出荷停止の影響が残るものの、原材料生産が上向くなど持ち直しの兆し。雇用は持ち直し基調も足踏み。個人消費は持ち直しの動き。

＜当月のポイント＞

- ・生産指数（8 月）は前月比、前年比とも小幅ながら 2 か月連続の上昇。電子、輸送など上昇。
- ・常用雇用指数（7 月）は前年比 23 か月連続上昇。有効求人倍率は足元で全国比低下幅やや拡大。
- ・百貨店・スーパー販売額（8 月）は前年比 2 か月ぶりの増加。コンビニ、ドラッグストア、家電専門店、ホームセンターも増加。乗用車販売（9 月）は前年比 2 か月ぶりの増加。

【当面の見通し】 下振れリスクはあるものの、緩やかに持ち直しに向かう

生産は自動車の認証不正問題の影響を残るものの、自動車関連で生産の正常化が進み持ち直しが期待される。個人消費は所得環境改善による持ち直しが期待される。ただし、エネルギー価格など物価上昇の行方や、海外景気等の下振れリスク等にも留意する必要がある。

項目	基調判断			変化方向	頁
	【前々月】	【前月】	【今月】		
現在の景気 （総合判断）	足踏み状態となっている	足踏み状態となっている	足踏み状態となっている	→	—
1. 企業の景況感	持ち直しに足踏みがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	→	2
2. 生産	持ち直しに足踏みがみられる	持ち直しに足踏みがみられる	持ち直しの動きがみられる	↗	3
3. 輸出	持ち直しに足踏みがみられる	持ち直しに足踏みがみられる	持ち直しに足踏みがみられる	→	3
4. 設備投資	持ち直しに足踏みがみられる	持ち直しに足踏みがみられる	持ち直しに足踏みがみられる	→	4
5. 企業倒産	増加の動きがみられる	増加の動きがみられる	増加の動きがみられる	→	4
6. 雇用	持ち直しに足踏みがみられる	持ち直しに足踏みがみられる	持ち直しに足踏みがみられる	→	5
7. 賃金	持ち直している	持ち直している	持ち直している	→	6
8. 個人消費	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	→	6
9. 住宅投資	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	→	7
10. 公共投資	持ち直している	持ち直している	持ち直している	→	8

※1 網掛けは前月より基調判断を変更したもの。変化方向は前月の基調判断に対する今月の基調判断の修正方向。

※2 採用指標は作成時点で発表済みの最新値を使用している。

＜担当＞ HRI 株式会社百五総合研究所 地域調査部 谷ノ上、片山 TEL 059-228-9105

1. 景気全般

(1) 県内企業の景況感

【現状】＜持ち直しの動きがみられる＞

○当社景況調査(半期、7月実施)では、24年度上期の業況判断BSI(変化方向)は△4.6のマイナスに転じた。業況判断DI(水準)は7-9月期(実績見込み)が+19.1の2桁プラスで持ち直し基調。

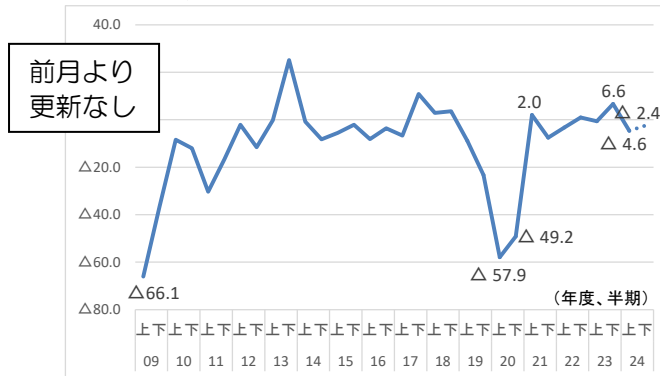
○法人企業景気予測調査(四半期、8月実施)では、7-9月期の景況判断BSIは2.5%ポイントの「上昇」超。

【見通し】

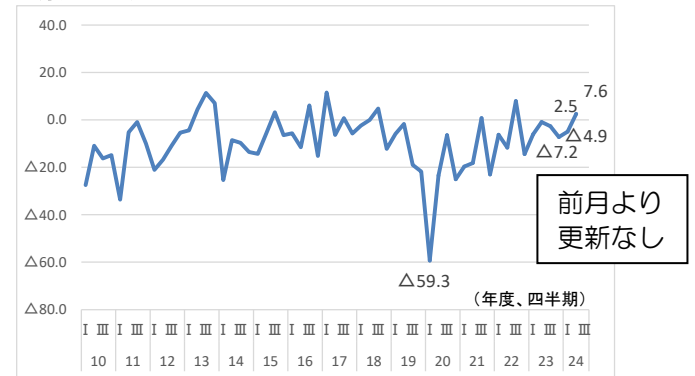
○当社景況調査では、24年度下期(見通し)の業況判断BSIは△2.4とマイナス幅縮小。業況判断DI(水準)は10-12月期・25年1-3月期(見通し)(+20.5、+19.0)ともに2桁プラス。

○法人企業景気予測調査の10-12月期(見通し)の景況判断BSIは、7.6%ポイントで「上昇」超。

■業況判断DI(当社景況調査、7月実施)



■景況判断BSI(法人企業景気予測調査、8月実施)



資料：当社「景況調査」(24年7月、453社)、東海財務局津財務事務所「法人企業景気予測調査」(24年8月、118社)

(2) 景気動向指数 ※2024年1月公表分より2020年基準に改定

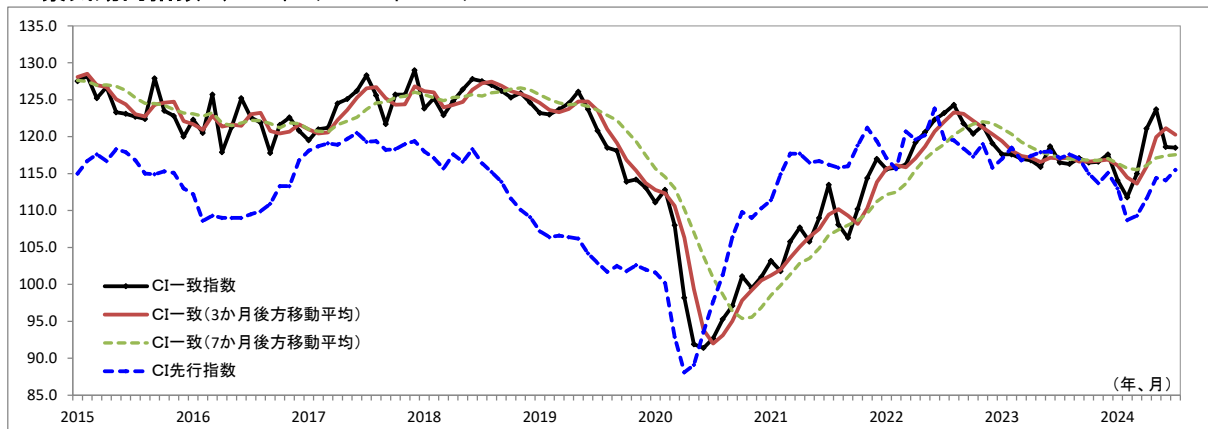
【現状】

○7月の景気動向指数(CI)一致指数は、118.5で前月差△0.1ポイント。3か月後方移動平均(△0.86ポイント)は4か月ぶりの下降、7か月後方移動平均(+0.13ポイント)は4か月連続の上昇となった。三重県が内閣府の判断基準に準じて判断した基調では、「上方への局面変化」としている。

【見通し】

○7月の景気動向指数(CI)先行指数は、115.5で前月差+1.4ポイント。3か月後方移動平均(+1.30ポイント)は3か月連続の上昇、7か月後方移動平均(+0.06ポイント)は2か月連続の上昇となった。

■景気動向指数(CI)(2020年=100)



※複数の指標の動きを統合して単一指標で景気を把握しようとするものであり、すべての経済指標を総合的に勘案して景気を捉えようとするものではないことに留意する。「3か月後方移動平均」は足下の基調変化を表し、「7か月後方移動平均」は定着しつつある基調を表す。

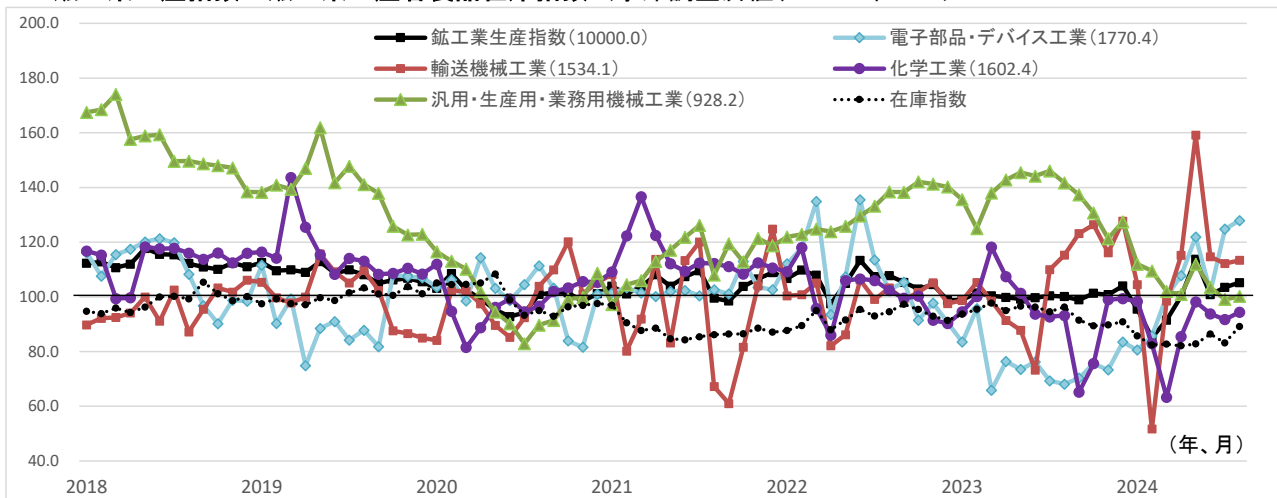
資料：三重県「三重県景気動向指数(CI)」

2. 生産

【現状】＜持ち直しの動きがみられる＞ ※2024年1月公表分より2020年基準に改定

- 8月の鉱工業生産指数（季調済）は105.2で、前月比+1.6%と2か月連続の上昇、原数値は96.6で前年比+3.1%と2か月連続の上昇となった。
- 生産指数を業種別にみると、電子部品・デバイスは、前月比で+2.5%と2か月連続の上昇、前年比では+85.4%と6か月連続の上昇となった。輸送機械は、前月比では+1.1%と3か月ぶりの上昇も、前年比では△6.2%と5か月ぶりの低下。6月に発覚した一部自動車メーカーにおける「型式指定」の認証不正問題による生産・出荷停止の影響。汎用・生産用・業務用機械は、前月比3か月ぶりの上昇も、前年比では△30.6%と12か月連続の低下。化学工業は、前月比、前年比ともに上昇。原材料である生産財は、前月比、前年比ともに2か月連続で上昇した。

■鉱工業生産指数・鉱工業生産者製品在庫指数（季節調整済値、2020年=100）



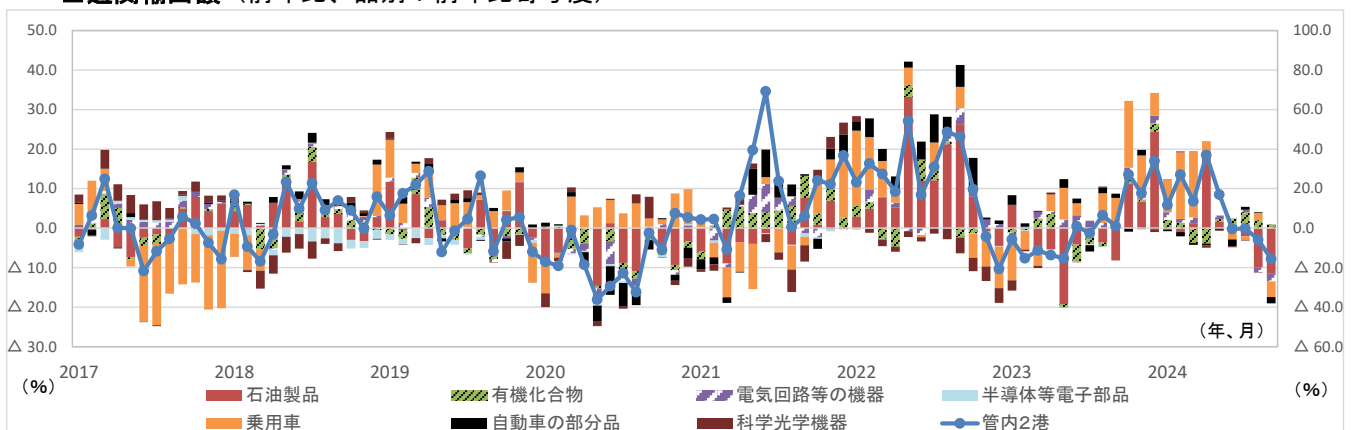
※資料：三重県「三重県鉱工業指数」

3. 輸出

【現状】＜持ち直しに足踏みがみられる＞

- 9月の県内2港（四日市港（尾鷲通関分含む）+津港）の通関輸出額（速報）は、前年比△15.6%と4か月連続の減少、主要港である四日市港は△15.2%と2か月連続の減少となった。
- 四日市港の輸出主要品別にみると、映像機器、有機化合物、ゴム製品などが増加に寄与したものの、石油製品、乗用車、電気回路等の機器、自動車の部分品、プラスチック、一般機械などが減少した。

■通関輸出額（前年比、品別：前年比寄与度）



※折れ線グラフは県内2港の前年比。棒グラフは四日市港の主要品目の前年比増減寄与度。

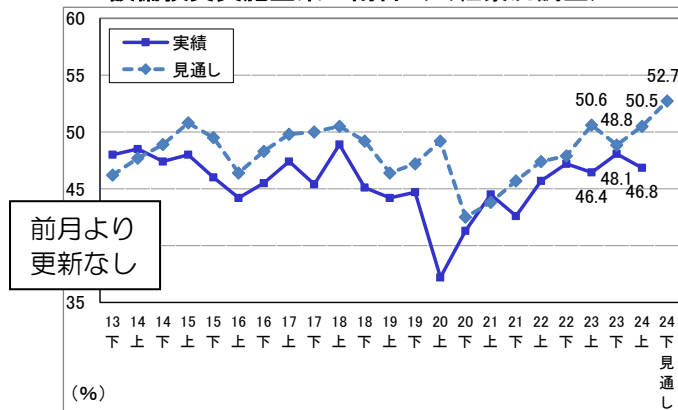
資料：四日市税関支署「管内貿易概況」

4. 設備投資

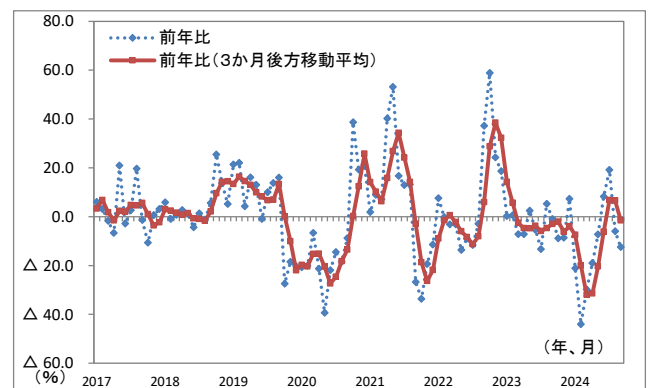
【現状】＜持ち直しに足踏みがみられる＞

- 当社景況調査(7月実施)では、24年度上期の設備投資実施(見込み)企業は46.8%と高水準も前期をわずかに下回りほぼ横ばい。法人企業景気予測調査(8月実施)では、全産業で△8.9%の減少見込みとなり、製造業では減少見込み、非製造業では増加見込み。
- 9月の貨物車新車登録・販売台数(普通+小型+軽)は前年比△12.5%となり、2か月連続の減少。普通貨物(△0.9%)は3か月ぶりの減少、小型貨物(△40.1%)は2か月連続の減少、軽貨物(△4.0%)は2か月連続の減少となった。
- 8月の建築物着工床面積(非居住用)は、前年比+156.3%と2か月連続の増加。
- 3月の地域別民間企業設備投資総合指数は、前年比△6.5%と10か月連続の低下。

■設備投資実施企業の割合(当社景況調査)

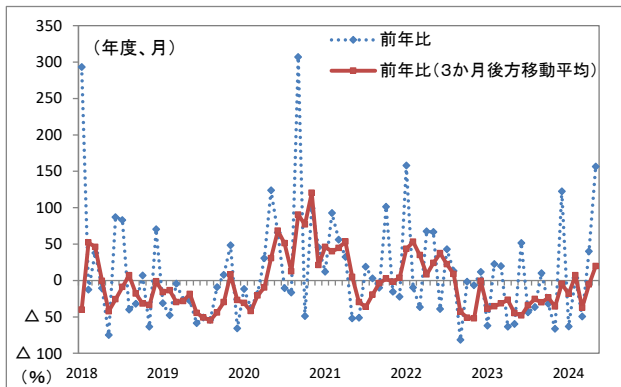


■貨物車新車登録・販売台数(普通・小型・軽、前年比)

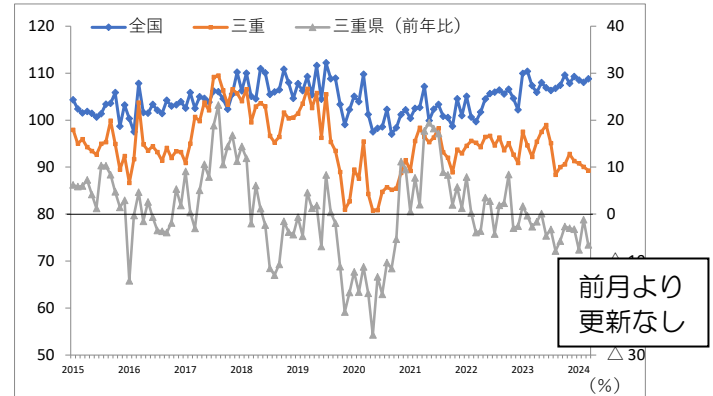


※資料：当社「景況調査」(投資額 500 万円以上)／三重県自動車販売協会、三重県軽自動車協会

■民間非居住用建築物着工床面積(前年比)



■地域別民間企業設備投資総合指数(季節調整済値)



※地域別民間企業設備投資総合指数の三重県は参考値。前年比は原数値による。公表は四半期ごと。

※資料：国土交通省「建築物着工統計」／内閣府「地域別支出総合指数」

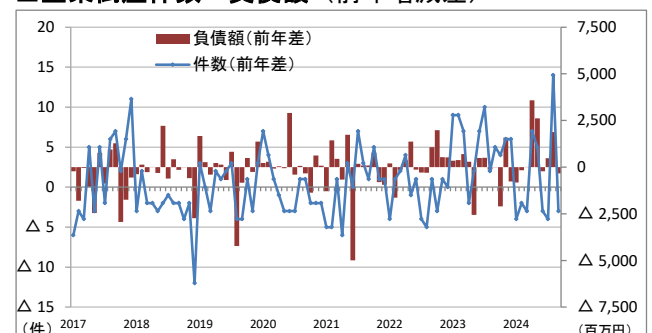
5. 企業倒産

【現状】＜増加の動きがみられる＞

- 9月の企業倒産件数は8件(前年差△3件)、負債額は9億51百万円(前年差△3億31百万円)となった。24年1月からの累計では、件数は2か月連続の増加、負債額は6か月連続の増加となった。

※負債額 1,000 万円以上 資料：(株)東京商工リサーチ

■企業倒産件数・負債額(前年増減差)

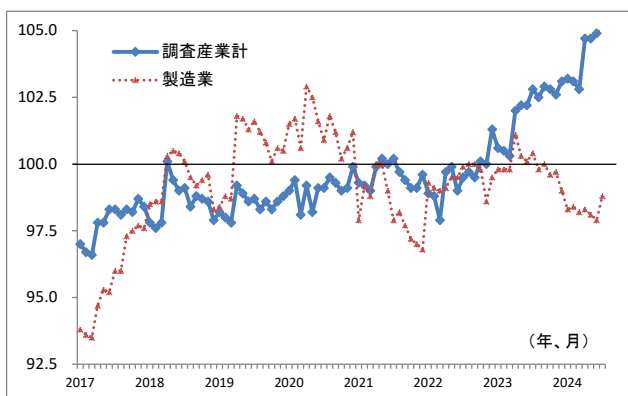


6. 雇用

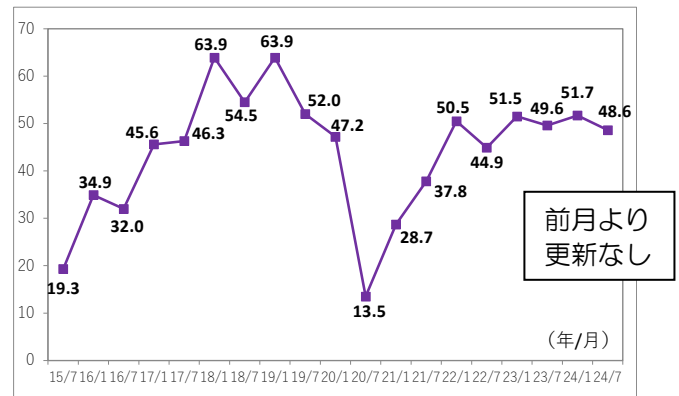
【現状】＜持ち直しに足踏みがみられる＞

- 7月の常用雇用指数は105.4で、前年比+1.6%となり、23か月連続の上昇となった。製造業は98.8で前年比△0.2%となり、8か月連続の低下となった。
- 当社景況調査(7月実施)では、55.0%の企業が人員は「不足・やや不足」と回答し過不足感は+48.6と依然高水準も、一部の製造業で「やや過剰」が目立ち、不足感はやや低下した。法人企業景気予測調査(8月実施)では、40.7%ポイントの「不足気味」超となったが、前回6月(44.7%ポイント)よりやや低下。
- ハローワークにおける8月の有効求人倍率(季調済)は1.16倍で前月と同数値。全国を15か月連続で下回り、低下幅は足元でやや拡大傾向。有効求人数(原数値)は前年比△7.9%で18か月連続の減少、有効求職者数(原数値)は+0.9%で15か月連続の増加となった。新規求人倍率は2.02倍で、前月比△0.05ポイントと低下した。
- 雇用保険の基本手当受給者実人員(8月)は、前年比+0.1%で17か月連続の増加となった。
- 求人情報・転職サイトdodaによると、中部地域の9月の転職求人倍率は2.97倍と前月比△0.01ポイントのほぼ横ばい。

■常用雇用指数 (2020年=100)



■人員の過不足感 (不足割合－過剰割合)

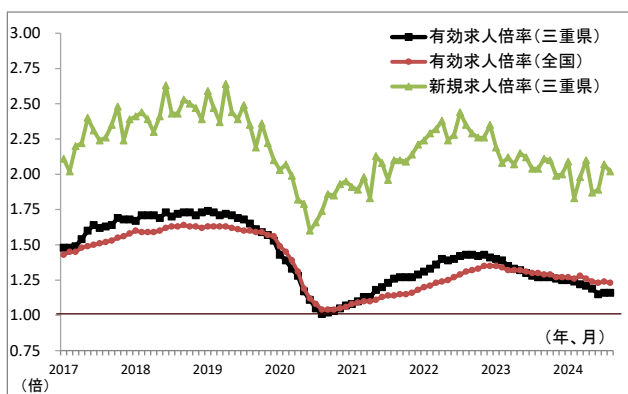


※常用雇用指数は、雇われて就業している者の数(正社員＋パートタイム労働者)を指数化したもの。2024年1月分公表時に、ベンチマーク更新に伴い過去に遡って改訂されている。

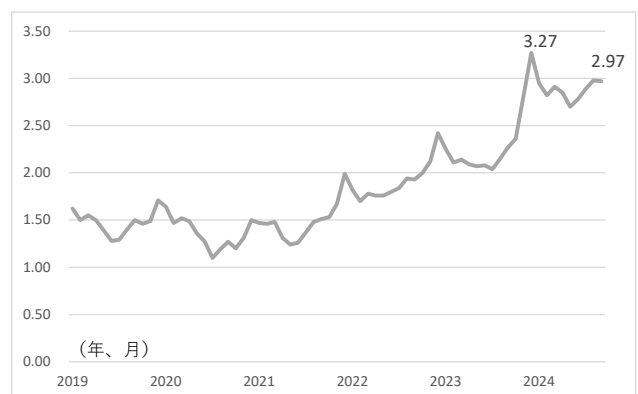
※人員の過不足感＝(「不足」＋「やや不足」の割合)－(「過剰」＋「やや過剰」の割合)

資料：三重県「毎月勤労統計調査」、当社「景況調査」

■有効求人倍率・新規求人倍率 (季節調整済値)



■doda 転職求人倍率 (中部地域)



※求人倍率は、新規学卒者を除きパートタイム労働者を含む。公共職業安定所への登録分。

※doda 転職求人倍率は、dodaの会員登録者(転職希望者)1名に対して、中途採用の求人が何件あるかを算出した値。

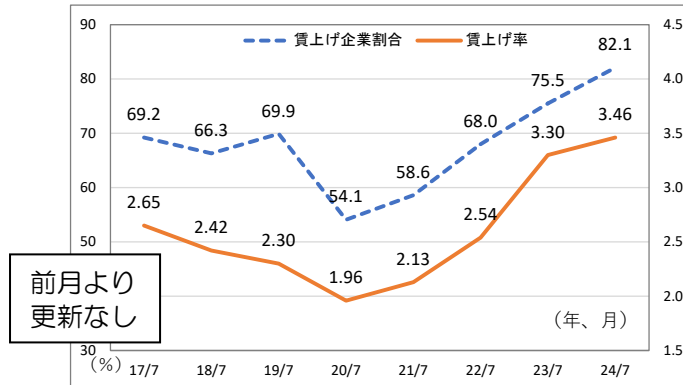
資料：三重労働局「一般職業紹介状況」、パーソルキャリア(株)「doda 転職求人倍率データ」より当社作成

7. 賃金

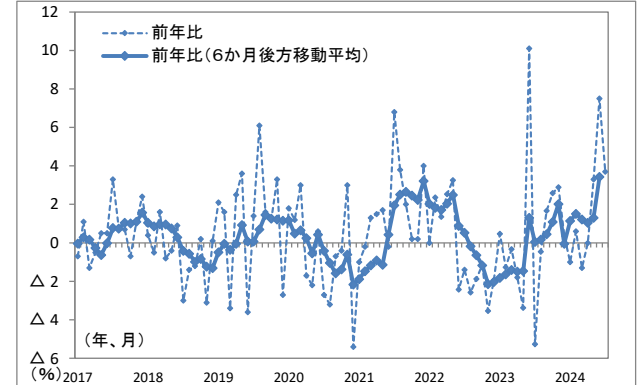
【現状】＜持ち直している＞

- 当社景況調査(7月実施)では、24年4～7月に賃金を「引き上げた」企業は82.1%と、前年同期(75.5%)を6.6ポイント上回った。賃上げ率は3.46%と、前年同期(3.30%)より上昇した。
- 7月の名目賃金指数(現金給与総額)は、前年比+3.7%と3か月連続の上昇となった。

■賃上げ企業割合・賃上げ率（7月時点）



■名目賃金指数（現金給与総額、前年比）



※賃上げ企業割合は、当年中に、賞与等を含む賃金を引き上げた企業の割合。賃上げ率は回答・妥結率。

※事業所規模5人以上、2020年=100。現金給与総額は、「きまって支給する給与」と「特別に支払われた給与」の合計。

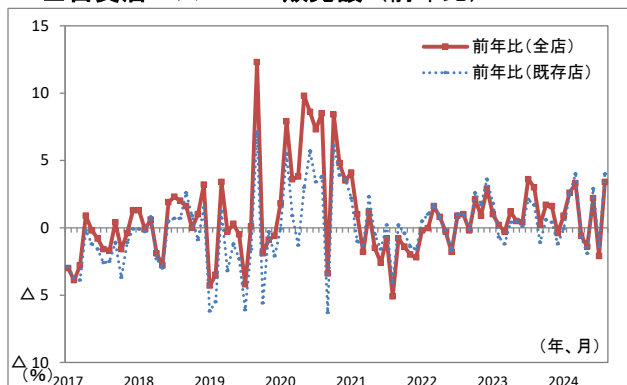
資料：賃上げ企業割合は当社「景況調査」、賃上げ率は連合三重。賃金指数は三重県「毎月勤労統計調査」。

8. 個人消費

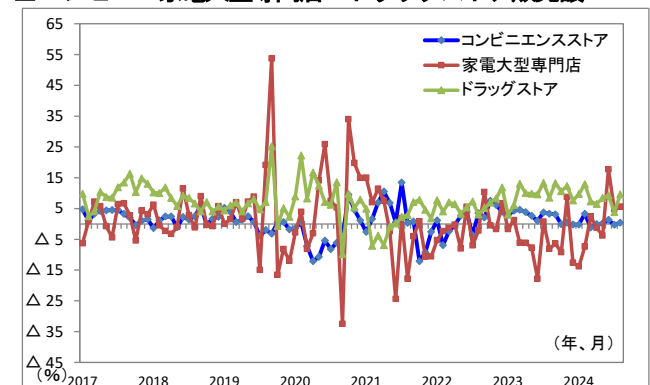
【現状】＜持ち直しの動きがみられる＞

- 当社景況5月臨時調査で、「節約意識が高まった」人は24年1月より改善。外出関連消費は増加。
- 8月の百貨店・スーパー販売額は、全店（前年比+3.4%）は2か月ぶりの増加、既存店（+4.0%）は2か月ぶりの増加。
- 8月のドラッグストア販売額（+9.6%）は前年比39か月連続の増加、家電大型専門店（+5.6%）は3か月連続の増加、コンビニエンスストア販売額（+0.4%）とホームセンター（+11.3%）の販売額は2か月ぶりの増加となった。
- 9月の乗用車新車登録・販売台数（普通+小型+軽）（+1.9%）は前年比2か月ぶりの増加。軽（+6.0%）は2か月ぶりの増加となったが、普通（△0.3%）と小型（△1.6%）は2か月連続の減少となった。
- 8月の家計消費支出（津市・勤労者世帯）（△4.8%）は前年比2か月ぶりの減少。
- 9月の消費者物価指数（生鮮食品を除く総合、津市）は、前年比+1.9%と上昇幅は縮小。

■百貨店・スーパー販売額（前年比）



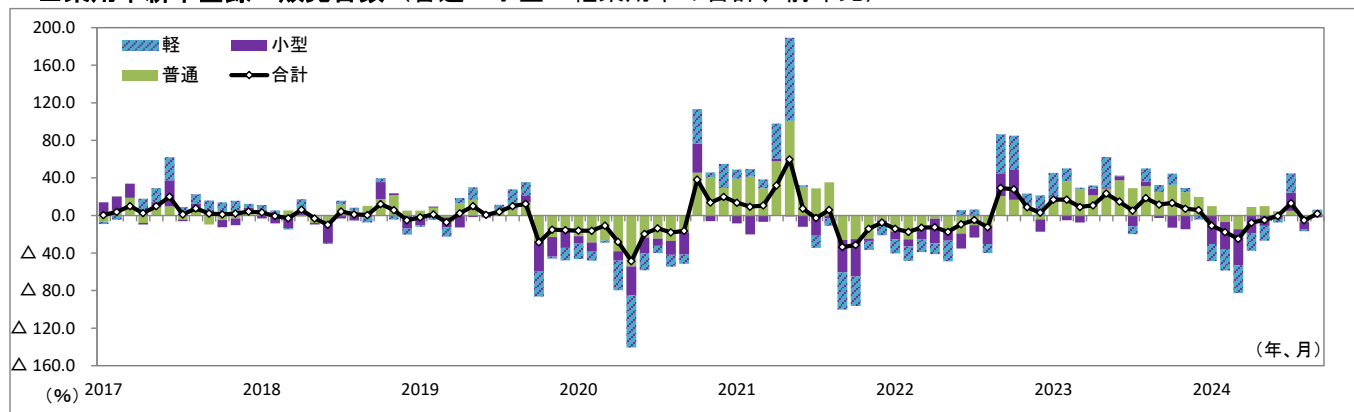
■コンビニ・家電大型専門店・ドラッグストア販売額



※既存店とは、調査対象事業所の定義変更及び異動(開店、廃業)があった場合、当月及び前年同月とも調査の対象となった事業所をいい、前年同月比の算出はその事業所のみで行っている。

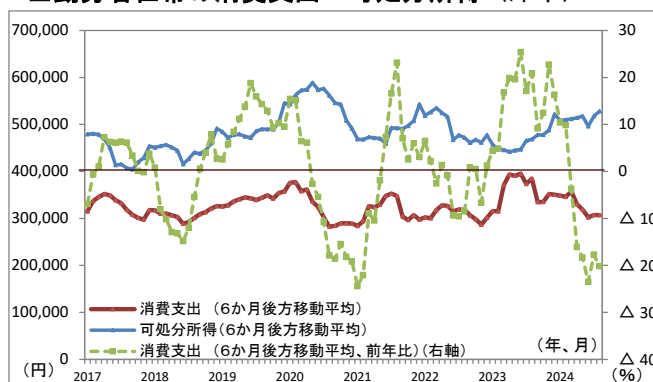
資料：経済産業省「商業動態統計」

■乗用車新車登録・販売台数（普通・小型・軽乗用車の合計、前年比）

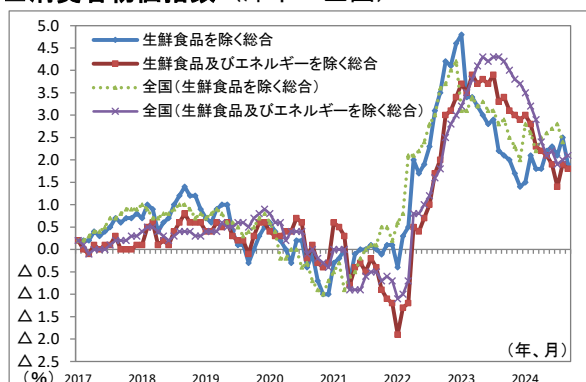


資料：三重県自動車販売協会、三重県軽自動車協会

■勤労者世帯の消費支出・可処分所得（津市）



■消費者物価指数（津市・全国）



※消費支出・可処分所得は、二人以上の世帯のうち勤労者世帯の1世帯あたりの月平均。

※津市の調査結果は、標本世帯数が少ないため、標本誤差が大きいことに留意。

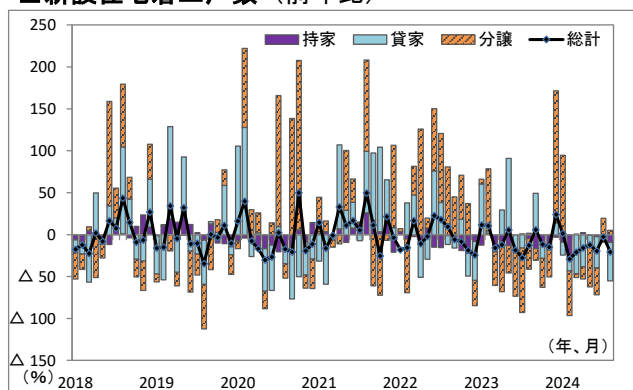
資料：三重県・総務省統計局「家計調査」、総務省「消費者物価指数」

9. 住宅投資

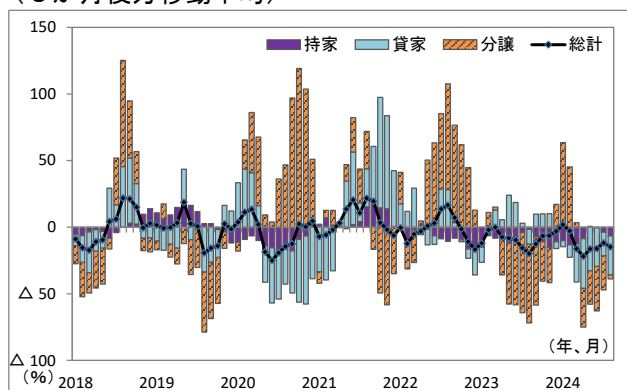
【現状】＜弱含んでいる＞

○8月の新設住宅着工戸数は、前年比△20.6%で7か月連続の減少、3か月後方移動平均でも7か月連続の減少となった。持家（△9.4%）は前年比4か月連続の減少、貸家（△45.7%）は8か月連続の減少となったが、分譲（+5.1%）は2か月連続の増加となった。床面積（△15.2%）は2か月ぶりの減少となった。

■新設住宅着工戸数（前年比）



（3か月後方移動平均）



※総計は、持家、貸家、分譲、給与住宅の合計

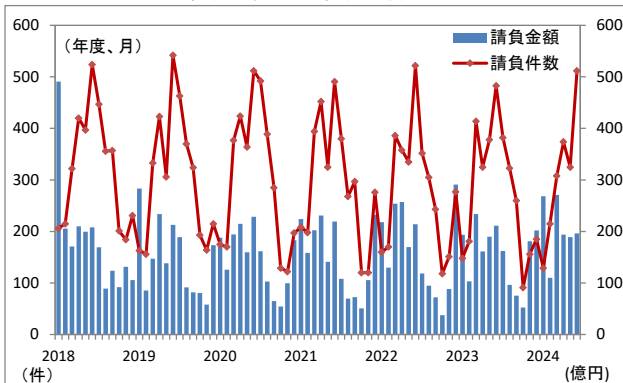
資料：国土交通省「建築着工統計調査」

10. 公共投資

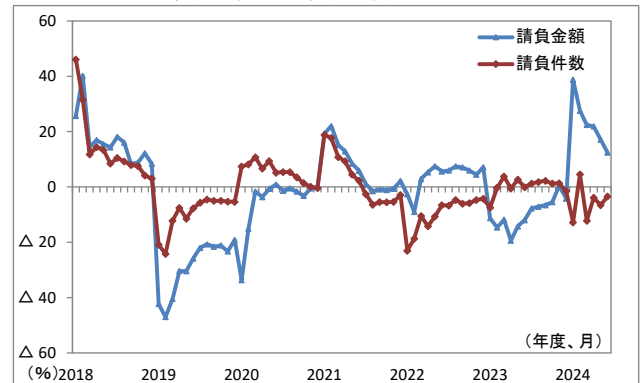
【現状】＜持ち直している＞

- 9月の公共工事請負件数は前年比+6.0%の増加、請負金額は△7.2%の減少となった。24年4月からの年度累計請負金額では、前年比+12.4%と6か月連続の増加となった。
- 年度累計請負金額について、発注者別にみると、県県土整備部（△2.5%）、社会福祉法人（△84.1%）、農林水産省（△63.6%）などは減少したが、市（+29.3%）、国土交通省（+9.3%）、日本下水道事業団（+361.2%）などが増加した。工事場所別では、いなべ市、松阪市、伊賀市などは減少したが、桑名市、鈴鹿市、津市などでは増加した。

■公共工事請負件数・請負金額



■公共工事請負件数・請負金額（年度累計・前年比）



※前払金保証取扱高（工事場所ベース：工事場所が三重県であったもの）

※発注者：国、独立行政法人、県、市町、地方公社、その他

資料：東日本建設業保証㈱

＜トピックス＞

- ◆ 全国にホテルを展開するアパグループは10月9日、近鉄四日市駅前にホテル開発用地を取得したと発表。ホテル名は「アパホテル近鉄四日市駅」とし、計画客室数は373室を予定。2027年11月開業を目指す。四日市市では中央通り付近の再開発が進み、バスターミナルの整備等により交通面の利便性向上が見込めることから、ビジネスだけでなく観光需要を取り込む狙い。
- ◆ 三重県は10月17日～10月29日までの13日間、2025年大阪・関西万博に向けて、関西圏における効果的なプロモーション方法を検証するため、新大阪駅に期間限定の情報発信拠点「三重テラス in 大阪」を設置し、「食」や「観光」など三重県の魅力を発信する。同拠点では、三重の食体験企画や県産品の販売が行われる。同月9日～15日は、阪急大阪梅田駅でも期間限定で同様のイベントを実施した。
また、三重県は、関西圏における「みえの食」プロモーションの一環として、ホテルオークラ京都内のレストラン3店舗において、県産食材を多数使用した「三重県食材フェア」を開催すると発表。開催期間は11月1日～12月30日まで。
- ◆ 伊勢市は10月23日、市民や観光客の夜間の移動需要と夜間のタクシー不足を補うため、日本版ライドシェアの実証事業を行うと発表。中部運輸局が助言・地域指定し、三重県が助言と事業費の半額を補助する。実施期間は12月5日～2025年3月1日の木曜・金曜・土曜の20時～24時限定。利用者は、配車アプリ「GO」で車両を予約し、タクシー料金に準じた金額を支払う。年末年始や忘年会・新年会シーズンの繁忙期に導入することで、国内有数の観光都市だけでなく、10万人以上の人口を有する地方都市が抱えるタクシー不足に対する効果検証を行う。

三重県主要経済指標

	景気動向指数C I (先行) (2020年=100)			景気動向指数C I (一致) (2020年=100)			業況判断BSI (年度半期)			景況判断BSI (年度四半期)	鉱工業生産指数 (2020年=100)			鉱工業在庫指数 (2020年=100)		
	前月差			前月差			製造業		非製造業		*1 *2	前月比		*1 *2	前月比	
2021年	—	—		—	—						104.7	4.7		87.9	△ 12.1	
2022年	—	—		—	—						105.5	0.8		92.6	5.3	
2023年	—	—		—	—						100.3	△ 4.9		93.9	1.4	
22年12月	115.8	△ 3.2		119.1	△ 2.4		0.9	△ 7.7	7.4		98.7	△ 5.6		91.4	△ 1.6	
23年1月	117.0	1.2		117.6	△ 1.5						99.0	0.3		93.7	2.5	
2月	118.5	1.5		117.6	0.0					△ 14.4	101.4	2.4		95.5	1.9	
3月	116.8	△ 1.7		117.0	△ 0.6						100.4	△ 1.0		97.7	2.3	
4月	117.4	0.6		116.8	△ 0.2						99.8	△ 0.6		95.0	△ 2.8	
5月	117.9	0.5		115.9	△ 0.9						99.2	△ 0.6		96.6	1.7	
6月	118.0	0.1		118.7	2.8		△ 0.7	△ 2.3	2.4		99.7	0.5		96.3	△ 0.3	
7月	117.1	△ 0.9		116.5	△ 2.2						100.4	0.7		94.6	△ 1.8	
8月	117.6	0.5		116.3	△ 0.2						100.1	△ 0.3		96.3	1.8	
9月	117.0	△ 0.6		117.1	0.8						98.9	△ 1.2		91.5	△ 5.0	
10月	115.0	△ 2.0		116.5	△ 0.6						101.3	2.4		89.4	△ 2.3	
11月	113.7	△ 1.3		116.6	0.1						100.8	△ 0.5		89.8	0.4	
12月	115.1	1.4		117.6	1.0		6.6	5.8	8.0		104.0	3.2		90.9	1.2	
24年1月	r 113.0	△ 2.1		114.1	△ 3.5						95.5	△ 8.2		85.7	△ 5.7	
2月	108.7	△ 4.3		111.8	△ 2.3						85.1	△ 10.9		82.4	△ 3.9	
3月	109.3	0.6		115.0	3.2						91.5	7.5		82.7	0.4	
4月	111.6	2.3		121.1	6.1						100.3	9.6		82.1	△ 0.7	
5月	r 114.4	2.8		r 123.7	2.6						113.8	13.5		82.8	0.9	
6月	r 114.1	△ 0.3		r 118.6	△ 5.1		△ 4.6	△ 13.6	3.9		100.8	△ 11.4		86.4	4.3	
7月	115.5	1.4		118.5	△ 0.1						103.5	2.7		83.2	△ 3.7	
8月	—	—		—	—						105.2	1.6		89.2	7.2	
9月	—	—		—	—					2.5	—	—		—	—	
資料出所	三重県政策企画部統計課						株式会社百五総合研究所			津財務事務所	三重県政策企画部統計課					

	輸 出 (億円)			輸 入 (億円)			貨物車販売				非居住用建築物 着工床面積		企業倒産 *4	
	*3	前年比		*3	前年比		普通+小型(新車登録台数)	軽(新車販売台数)			(㎡)	前年比	件数 (件)	負債額 (百万円)
2021年	9,094	17.8		16,061	40.1		5,406	4.7	8,064	△ 0.5	782,678	1.2	72	10,192
2022年	11,034	21.3		26,489	65.0		5,222	△ 3.4	9,111	13.0	786,825	0.5	65	13,716
2023年	11,246	1.9		24,491	△ 7.5		5,207	△ 0.3	8,650	△ 5.1	553,076	△ 29.7	130	12,435
22年12月	828	△ 20.6		2,363	21.3		491	27.5	647	12.7	34,674	△ 81.7	7	1,415
23年1月	787	△ 5.8		2,187	34.3		347	△ 15.6	755	9.7	52,591	△ 1.8	11	1,210
2月	733	△ 15.2		2,105	8.2		454	12.4	795	△ 5.1	58,219	△ 6.6	14	1,045
3月	834	△ 11.3		2,272	30.4		558	△ 8.4	892	△ 6.4	39,758	11.7	14	1,235
4月	775	△ 13.6		2,025	△ 11.3		322	△ 23.5	753	2.2	62,491	△ 62.1	3	832
5月	795	△ 15.3		1,638	△ 23.9		346	△ 7.7	582	9.6	56,953	22.6	7	980
6月	948	1.0		1,725	△ 19.4		466	2.0	557	△ 10.7	59,112	19.8	12	662
7月	937	△ 2.6		1,665	△ 28.8		394	7.4	553	△ 23.7	45,619	△ 63.5	16	916
8月	961	6.4		1,939	△ 35.1		429	26.5	644	△ 5.3	23,042	△ 60.0	4	150
9月	1,051	1.1		1,987	△ 25.9		569	27.3	779	△ 14.8	39,258	51.5	11	1,282
10月	1,272	27.2		2,104	△ 5.4		441	1.4	755	△ 13.9	43,266	△ 43.7	13	1,127
11月	1,043	17.7		2,388	19.3		448	△ 3.9	797	△ 11.1	34,599	△ 36.8	12	2,353
12月	1,109	34.0		2,454	3.8		433	△ 11.8	788	21.8	38,168	10.1	13	643
24年1月	879	11.7		1,975	△ 9.7		337	△ 2.9	532	△ 29.5	35,675	△ 32.2	7	392
2月	932	27.1		2,001	△ 4.9		272	△ 40.1	427	△ 46.3	19,562	△ 66.4	12	873
3月	947	13.6		2,024	△ 10.9		412	△ 26.2	605	△ 32.2	88,449	122.5	11	1,251
4月	1,063	37.0		2,323	14.7		305	△ 5.3	566	△ 24.8	22,946	△ 63.3	10	4,416
5月	931	17.0		2,161	31.9		326	△ 5.8	535	△ 8.1	58,849	3.3	12	3,592
6月	944	△ 0.4		1,999	15.9		420	△ 9.9	687	23.3	29,853	△ 49.5	9	444
7月	936	△ 0.2		r 2,184	31.1		498	26.4	630	13.9	63,846	△ 40.0	12	1,389
8月	905	△ 5.8		2,294	18.3		395	△ 7.9	614	△ 4.7	59,064	156.3	18	2,024
9月	p 887	△ 15.6		p 2,044	2.9		432	△ 24.1	748	△ 4.0	—	—	8	951
資料出所	四日市税関支署(四日市港、津港の合計)						三重県自動車販売協会		三重県軽自動車協会		国土交通省		株式会社東京商工リサーチ	

	常用雇用指数 *5				有効					新規求人 倍率	名目賃金指数 *5	
	調査産業計		製造業		求人倍率 *1*2 (倍)	求人数		求職者数			(現金給与と総額)	前年比 *11
	(2020年=100)	前年比	(2020年=100)	前年比		*6 (人)	前年比	*6 (人)	前年比			
2021年	99.6	0.5	98.3	△ 3.1	1.20	30,173	4.2	25,133	0.6	2.02	101.9	1.9
2022年	99.5	△ 0.1	99.4	1.1	1.39	34,157	13.2	24,514	△ 2.5	2.30	101.2	△ 0.7
2023年	102.0	2.6	100.0	0.5	1.31	32,153	△ 5.9	24,563	0.2	2.08	101.8	0.6
22年12月	101.3	1.7	99.5	2.7	1.41	33,732	2.5	21,966	△ 6.4	2.35	172.4	△ 1.9
23年1月	100.6	1.7	99.8	0.5	1.40	33,876	△ 1.0	22,151	△ 7.0	2.19	86.3	0.5
2月	100.5	1.7	99.8	0.6	1.39	34,944	0.4	23,590	△ 3.6	2.08	85.7	△ 1.3
3月	100.3	2.4	99.8	0.7	1.35	34,777	△ 3.1	24,999	△ 2.9	2.12	89.6	△ 0.3
4月	102.0	2.3	101.1	1.9	1.33	32,451	△ 5.8	25,841	△ 1.9	2.07	87.5	△ 1.8
5月	102.2	2.4	100.3	0.8	1.32	31,261	△ 6.3	26,234	△ 0.8	2.15	85.8	△ 3.4
6月	102.2	3.3	100.1	0.6	1.30	31,290	△ 6.6	26,038	1.2	2.12	141.6	10.1
7月	102.8	3.4	100.4	0.5	1.28	30,970	△ 6.1	25,025	3.9	2.04	120.6	△ 5.3
8月	102.5	2.9	99.8	△ 0.2	1.27	30,716	△ 7.8	24,769	3.8	2.04	86.5	△ 0.5
9月	102.9	3.5	100.0	0.0	1.27	31,168	△ 8.3	24,690	3.3	2.11	85.2	1.7
10月	102.8	2.8	99.6	△ 0.2	1.27	31,780	△ 8.4	24,830	2.4	2.10	87.2	2.6
11月	102.6	2.7	99.7	1.0	1.26	31,699	△ 9.5	23,925	1.5	1.99	92.7	2.9
12月	103.1	1.9	99.0	△ 0.4	1.25	30,906	△ 8.4	22,666	3.2	2.00	173.0	0.3
24年1月	103.2	2.6	98.3	△ 1.5	1.25	31,403	△ 7.3	23,050	4.1	2.09	86.8	△ 1.0
2月	103.1	2.6	98.4	△ 1.4	1.24	32,069	△ 8.2	24,181	2.5	1.83	87.5	0.6
3月	102.8	2.5	98.2	△ 1.6	1.22	31,549	△ 9.3	25,072	0.3	1.98	89.3	△ 1.3
4月	104.7	1.7	98.3	△ 1.4	1.21	30,121	△ 7.2	26,833	3.8	2.10	88.7	0.0
5月	104.7	1.6	98.1	△ 0.8	1.19	29,170	△ 6.7	27,207	3.7	1.87	89.9	3.3
6月	104.9	1.7	97.9	△ 0.8	1.15	28,462	△ 9.0	26,675	2.4	1.89	154.1	7.5
7月	105.4	1.6	98.8	△ 0.2	1.16	28,612	△ 7.6	25,821	3.2	2.07	126.5	3.7
8月	—	—	—	—	1.16	28,287	△ 7.9	24,991	0.9	2.02	—	—
9月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
資料出所	三重県政策企画部統計課				三重労働局職業安定課					三重県政策企画部統計課		

*1 : 月別の数値は季節調整済値 *2 : 年数値については原指数、前年比 *3 : 2017年1月から、四日市港には四日市税関支署尾鷲出張所の通関分を含む。

*4 : 負債額1千万円以上 *5 : 事業所規模5人以上 *6 : 年数値は年間の月平均 *7 : 既存店とは当月及び前年同月とも調査対象となった事業所

*8 : 前年(度、同期、同月)比増減率はギャップを調整するリンク係数で処理した数値で計算している

*9 : 「家計調査」により津市において調査した世帯(単身世帯を除く)の1か月間の家計消費の状況(平均)。標本数が少ないため標本誤差が大きく、前年や全国の結果との比較の際には注意が必要。

*10 : 官公庁工事請負額の年数値は年度計

三重県主要経済指標

	所定外労働時間指数 *5				百貨店・スーパー販売額		乗用車販売				消費支出 *9	
	調査産業計		製造業		*7 *8	前年比	普通＋小型(新車登録台数)		軽(新車販売台数)		(津市、二人以上の世帯のうち 勤労者世帯)	
	(2020年=100)	前年比 *11	(2020年=100)	前年比 *11	(百万円)	(既存店)	(台)	前年比	(台)	前年比	(円)	前年比
2021年	108.6	8.6	119.9	19.8	306,526	△ 0.7	45,510	1.9	28,713	△ 1.9	322,726	5.3
2022年	109.1	0.5	124.9	4.2	308,628	1.0	42,059	△ 7.6	28,780	0.2	308,219	△ 4.5
2023年	96.3	△ 11.8	111.8	△ 10.5	—	0.3	48,492	15.3	31,028	7.8	372,845	21.0
22年12月	106.7	△ 11.5	122.0	△ 11.2	30,676	3.6	3,389	△ 7.4	2,494	21.4	345,222	5.9
23年1月	106.7	△ 4.3	109.8	△ 13.2	26,787	1.8	3,813	9.4	2,905	28.8	421,638	35.0
2月	97.1	△ 15.1	118.2	△ 11.9	23,849	△ 0.7	4,438	19.1	3,018	13.6	276,418	△ 3.2
3月	103.8	△ 14.4	110.6	△ 18.4	24,812	△ 1.2	6,247	13.8	3,509	1.4	615,722	76.7
4月	100.0	△ 15.5	109.8	△ 16.7	24,862	0.4	3,411	16.2	2,246	3.5	426,728	23.9
5月	91.3	△ 13.7	102.3	△ 11.7	25,641	0.5	3,136	17.9	2,168	32.2	257,310	△ 24.9
6月	94.2	△ 12.5	109.8	△ 9.4	25,048	0.1	3,863	25.1	2,321	0.7	373,956	44.9
7月	95.2	△ 9.2	113.6	△ 8.5	26,755	2.1	3,909	14.4	2,174	△ 8.2	290,877	△ 13.2
8月	88.5	△ 13.2	108.3	△ 11.7	27,010	1.7	3,476	21.2	2,097	14.3	343,250	22.3
9月	94.2	△ 7.6	115.2	△ 1.9	24,778	△ 1.1	4,341	14.3	2,798	7.5	315,999	13.1
10月	95.2	△ 12.4	113.6	△ 5.7	25,979	0.6	3,991	14.1	2,728	12.2	429,752	46.8
11月	96.2	△ 9.8	118.9	△ 6.6	25,832	0.4	4,040	9.1	2,673	4.5	357,713	30.4
12月	93.3	△ 12.6	111.4	△ 8.7	30,556	△ 1.2	3,827	12.9	2,391	△ 4.1	364,779	5.7
24年1月	92.3	△ 15.8	104.5	△ 4.8	27,002	△ 0.1	3,615	△ 5.2	2,379	△ 18.1	279,701	△ 33.7
2月	93.3	△ 5.8	106.1	△ 10.8	24,472	2.5	3,807	△ 14.2	2,325	△ 23.0	327,768	18.6
3月	99.0	△ 5.5	110.6	△ 1.3	25,629	4.0	4,851	△ 22.3	2,472	△ 29.6	383,931	△ 37.6
4月	100.0	△ 1.0	113.6	2.0	24,722	△ 0.7	3,398	△ 0.4	1,824	△ 18.8	266,437	△ 37.6
5月	89.4	△ 3.1	100.8	△ 2.1	25,292	△ 1.9	3,224	2.8	1,826	△ 15.8	290,563	12.9
6月	98.1	3.0	106.8	△ 4.1	25,599	2.9	3,954	2.4	2,202	△ 5.1	264,947	△ 29.2
7月	102.9	6.0	110.6	△ 4.6	26,204	△ 1.4	4,259	9.0	2,619	20.5	309,537	6.4
8月	—	—	—	—	27,935	4.0	3,221	△ 7.3	2,062	△ 1.7	326,660	△ 4.8
9月	—	—	—	—	—	—	4,310	△ 0.7	2,967	6.0	—	—
資料出所	三重県政策企画部統計課				経済産業省		三重県自動車販売協会		三重県軽自動車協会		総務省統計局	

	新設住宅着工戸数		公共工事請負金額		消費者物価指数			
	(戸)		(億円)		(津市・生鮮食品を除く総合)		(津市・生鮮食品及び エネルギーを除く総合)	
	前年比		*10	前年度比	(2020年=100)	前年比	(2020年=100)	前年比
2021年	10,203	6.7	1,815	2.2	99.9	△ 0.1	99.6	△ 0.4
2022年	9,912	△ 2.9	1,945	7.1	102.2	2.3	100.6	0.9
2023年	9,224	△ 6.9	1,862	△ 4.2	105.0	2.7	104.1	3.5
22年12月	581	△ 24.5	72	△ 0.5	104.4	4.6	102.2	3.4
23年1月	747	11.7	38	△ 25.8	104.5	4.8	102.3	3.7
2月	708	10.6	88	△ 16.2	103.8	3.4	102.5	3.5
3月	803	△ 15.8	291	25.5	104.3	3.4	103.1	3.9
4月	725	△ 12.0	193	△ 11.3	104.9	3.2	103.7	3.7
5月	768	5.6	103	△ 20.4	104.7	3.0	103.8	3.8
6月	839	△ 18.5	234	△ 7.9	104.7	2.8	104.0	3.7
7月	752	△ 27.8	161	△ 37.2	105.4	2.9	104.7	3.9
8月	883	△ 12.8	190	11.9	105.4	2.2	104.7	3.3
9月	908	6.0	211	△ 1.2	105.4	2.1	104.8	3.4
10月	733	△ 11.6	162	36.8	105.8	2.0	105.0	3.1
11月	638	△ 14.7	96	1.9	105.7	1.7	105.1	3.0
12月	720	23.9	75	4.2	105.8	1.4	105.2	2.9
24年1月	757	1.3	52	38.7	106.0	1.5	105.4	3.0
2月	501	△ 29.2	181	105.0	106.1	2.1	105.4	2.8
3月	635	△ 20.9	202	△ 30.6	106.2	1.8	105.5	2.3
4月	610	△ 15.9	268	38.8	106.8	1.8	106.1	2.2
5月	674	△ 12.2	110	6.5	107.0	2.2	106.0	2.1
6月	675	△ 19.5	271	15.9	107.2	2.3	105.9	1.9
7月	732	△ 2.7	194	20.1	107.6	2.1	106.2	1.4
8月	701	△ 20.6	189	△ 0.4	108.0	2.5	106.7	1.9
9月	—	—	196	△ 7.2	107.4	1.9	106.7	1.8
資料出所	国土交通省		東日本建設業保証機構		総務省統計局			